

# PRESS RELEASE

岩見沢市総務部秘書課広報室

令和 8 年 3 月 26 日

## 問合せ先

担当者 秘書課広報室長 小笠原

電話番号 0126-35-4793

## 記者懇談会資料の配布について

本日の記者懇談会の資料を送付いたします。記者懇談会会場ではペーパーレス会議用のタブレットを用意し、資料を閲覧できるように準備しますので、必要があればお声掛けください。

### 記

- 1 市立総合病院と北海道中央労災病院の統合について（市立総合病院事務部）
- 2 岩見沢テロワール・ワインプロジェクト ガバメントクラウドファンディングの開始について（企画財政部）

### 本日の記者懇談会

日時 3月26日(木)午後3時30分

場所 岩見沢市役所 3階 会議室 3-5

※ ご出席できない場合は、広報室 小笠原までご連絡ください。

電話 0126-35-4793

# 市立総合病院と北海道中央労災病院の統合について

## 1 標榜診療科

専門医の配置状況や新病院で予定している標榜診療科につなげていくことを考慮し、内科や外科を中心に細分化し、15診療科から22診療科に再編します。

<b>統合前</b>	15科	内科、消化器内科、小児科、外科、整形外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科、精神神経科、麻酔科、脳神経外科、皮膚科、放射線科、 <u>形成外科</u> （形成外科は廃止）
<b>統合後</b>	22科	内科、 <u>呼吸器内科</u> 、 <u>循環器内科</u> 、 <u>腎臓内科</u> 、消化器内科、小児科、外科、 <u>透析外科</u> 、 <u>血管外科</u> 、 <u>乳腺外科</u> 、整形外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科、精神神経科、麻酔科、脳神経外科、皮膚科、放射線科、 <u>リハビリテーション科</u> 、 <u>歯科口腔外科</u> （下線は新設）

## 2 病床数

現在休床中の病床を廃止するとともに、精神病床については、現在の稼働状況を鑑みて、病床数の見直しを行います。

現 行			統合後		
	病棟数	病床数		病棟数	病床数
急性期	8	331床	急性期	7	293床
回復期	—	—	回復期	1	38床
精神	2	115床	精神	2	70床
感染	—	4床	感染	—	4床
休床	—	24床	休床	—	0床
計	10	474床	計	10	405床

### 回復期リハビリテーション病棟の設置【新棟4階】

南空知医療圏域で回復期病床が大きく不足している現状を踏まえ、新病院で予定していた回復期リハビリテーション病棟を統合時に前倒して設置します。

## 3 労災病院から移行する主な機能

### ①歯科口腔外科【本館地下1階】

歯科医師や歯科衛生士が労災病院から移行し、新たに市立総合病院に歯科口腔外科を開設します。

### ②心不全・心臓リハビリテーション室【本館2階】

心臓疾患を持つ患者が、運動療法、生活指導、栄養指導などを通じて再発や再入院を防いで快適な社会生活を送ることができるよう、多職種連携による治療プログラムを提供します。

## 4 外来診療枠の拡充について

### ①内科系外来診察室の増設

患者増に対応するよう内科系外来診察室をこれまでの9室から12室に増やします。

### ②午後診療の拡充

- ・内科と腎臓内科については、これまで予約患者のみの診療から予約なしでも受診できる曜日を設定
- ・整形外科については、これまで木曜日の週1回の診療から月・水・金の週3回の診療に拡充

診療科	現行	統合後
内科	予約のみ	月曜から木曜日（週4日）
腎臓内科	予約のみ	月曜日・火曜日（週2日）
整形外科	週1回	月曜日・水曜日・金曜日（週3日）

## 5 市民健康センターの機能拡充

これまで労災病院の健康診断センターで人間ドックなどを受診していた方の受け入れにも対応するため、時間帯別健診コースを新たに設定することにより、健診時間を分散し、受診者数を増加して対応するとともに、労災病院で行っていた胃内視鏡検査（胃カメラ）を導入します。

現行の健診時間	4月以降の健診時間
8：30～12：00	① 8：30～10：00（食事制限あり） ② 10：00～12：00（食事制限なし） ③ 13：30～16：00（食事制限なし）

## 6 今後の予定

<b>4月1日（水）</b>	午前11時	労災病院から移行する職員への辞令交付
	午後4時30分	病院長訓示
<b>4月6日（月）</b>	午前9時30分	心不全・心臓リハビリテーション開始

# 岩見沢テロワール・ワインプロジェクト ガバメントクラウドファンディング（GCF） の開始について

R8.3.26  
記者懇談会

## 1. 岩見沢テロワール・ワインプロジェクトについて

ぶどう栽培から観光まで一体で育てる、まちづくりの取組みです。

- 【STEP1】 栽培面積拡大の取組み（R8～10）  
苗木を植えるための農地整備を実施します。
- 【STEP2】 苗木の植栽、収穫量増の取組み（R11～16）  
耐病性・耐寒性等に優れた新品種を導入し苗木の植栽を行います。
- 【STEP3】 ワイン産業振興の取組み（R17頃～）  
オリジナルワイン開発や、ワインと飲食店・宿泊施設を結ぶ周遊モデルを構築します。

## 2. クラウドファンディング（GCF）について

- 受付期間  
4月15日（水）10:00～5月31日（日）23:59
- 目標金額  
200万円
- 寄付の使い道  
岩見沢市の寒暖差の大きい気候を活かしたワインを作るため、【STEP1】のぶどうを育てるための農地整備に活用します。
- 寄付額  
12,000円～270,000円
- 返礼品
  - ①岩見沢で生まれたワイン（市販では手に入りづらいワインもあります）  
岩見沢<sup>まるがん</sup>ワイン生産者協議会「葡萄酒の〇岩」のワイン  
（〇岩構成員：KONDOヴィンヤード、宝水ワイナリー、10R、こことある（ココ・ファーム・ワイナリー）、ナカザワヴィンヤード、ワイン畑浦本、千葉ヴィンヤード、岩見沢ワイナリー[ワイン提供なし]）
    - ・1本
    - ・2本、4本、12本セット
  - ②ワイナリーでかごづくり&ピクニック体験（観光協会が実施）
- 寄付実施サイト  
ふるさとチョイス（GCF専用ページ）



※開始日からアクセス可

## 3. その他

プロジェクトに対する、一般寄付（個人、団体、企業）や企業版ふるさと納税も随時募集しております。